

寅さん歩 その24

半径 30 分以内ー2

染井霊園



平野 武宏

八柳修之さんの「STAY HOME 半径 500m 以内」からヒントをいただき「寅さん歩 半径 30 分以内」を新たなテーマとしました。自宅から 30 分以内で歩いて行けるマイお散歩コースです。新型コロナウイルス感染拡大に伴う全国の「緊急事態宣言」は 5 月 25 日解除されましたが、毎日の感染者数が減らない東京都は 6 月 2 日「東京アラーム」を発動、「博物館めぐり」の再開が難しい状況です。しばらくの間、新テーマを紹介します。今回は前回紹介した「巢鴨地蔵通り」の先まで行くお散歩コースです。ソメイヨシノ誕生の地の見事な桜を見ていただきたいですが、著名人のお墓を巡る「墓マイラー」(「こぼれ話」をご参照ください)には静かな時期もお奨めです。最寄駅は代表例です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

【染井霊園】 豊島区駒込 5-5-1 最寄駅 JR 駒込駅北口

駒込駅北口前の本郷通りを横断、神社脇を線路に沿って進み、右折・直進 7 分で染井霊園入口(写真右上)に到着です。寅次郎の自宅からは巢鴨地蔵通りの高岩寺脇から白山通りを横断、脇の「巢鴨門」に徒歩 10 分で到着です。

入口には案内立看板がありますが、管理事務所に霊園案内図があります。

案内図には「染井霊園は上駒込の建部邸(注:播州林田藩建部邸)跡地を東京府が引継、明治 7 年 9 月 1 日、染井墓地として開設しました。明治 22 年東京市に移管昭和 10 年 5 月には名称を染井霊園と改め現在に至っています。都立霊園の中では最も規模が小さく(注:約 2 万坪あり)、ほぼ平坦な地に桜の古木が点在する中に墓地が設けられた静寂な地となっています」と記載。(注:)は寅次郎が追記。写真下は見事な桜です。



明治政府は神仏分離を薦めて寺院所有以外の宗教に定めのない墓地（特に神道やキリスト教）を求めました。案内図には多くの著名人が眠っている場所が表示されています。実は寅次郎の妻の祖父母、両親も神道の墓に眠っています。



案内図に記載の著名人の墓は、**若槻礼次郎**（大正末期から昭和の政治家で首相）、**幣原喜重郎**（戦後首相として新憲法を制定）、**浜尾新**（明治 26 年東京帝国大学総長、大正 13 年枢密院議長）、**高田早苗**（大隈内閣の文相、早稲田大学総長）、**岡倉天心**（東京美術学校校長(現東京藝術大学)、思想家、文人、日本文化を世界に紹介）、**巖本善治**（明治女学校校長、真理の祖父）と**若松賤子**（作家、善治の妻、真理の祖母）はそれぞれの墓、**巖本荘民**（善治の息子、真理の父）**巖本マーグリート**（荘民の妻、真理の母）、**巖本真理**（ヴァイオリン奏者）の親子は一緒の墓、**高村光雲**（彫刻家・詩人、代表作に「老猿」「西郷隆盛像」、光太郎の父）、**高村光太郎**（芸術家・彫刻家・詩人、代表作に「道程」、「智恵子抄」、光雲の長男）・**高村智恵子**（洋画家・紙絵作家、光太郎の妻）は三人一緒の墓、**二葉亭四迷**（小説家、代表作 [浮雲]）、**大田黒元雄**（日本の楽壇における評論活動の先駆者）、**水原秋桜子**（俳人）、**五島美代子**（歌人）、**松浦武四郎**（「北海道」の名付け親）、**ローデス・ワイリック**（アメリカの宣教師、日露戦争の負傷者を看護、「東洋のナイチンゲール」と呼ばれた）などがあります。

〔寄り道—1〕 慈眼寺

豊島区巢鴨 5-35-33



染井霊園入口から霊園内を直進、園外に出ると日蓮宗のお寺（写真左）があります。正面が山門で左手前が墓地の入口で入れます。次の著名人の墓があります。**芥川龍之介**（小説家、代表作は「羅生門」・「邪宗門」等）、隣の芥川家の墓には**芥川比呂志**（俳優、演出家、龍之介の長男）、

芥川也寸志（作曲家、指揮者、龍之介の三男）が眠っていました。

谷崎潤一郎（小説家、代表作は「痴人の愛」・「細雪」等、京都左京区に墓地があり、こちらは分骨とのこと）、小林平八郎（吉良家家老、吉良邸で赤穂浪士と戦い戦死）、司馬江漢（江戸時代の絵師、蘭学者、浮世絵の鈴木春重は同一人物）。

〔寄り道—2〕 本妙寺

豊島区巣鴨 5-35-6



慈眼寺を出て右手に行き、巣鴨平和霊苑の隣にある法華宗陣門流のお寺です。

次の著名人の墓があります。

遠山金四郎（江戸北町奉行、南町奉行を勤めた遠山の金さん）、**千葉周作**（剣術家、北辰一刀流創始者）、**本因坊歴代**（本因坊とは江戸時代からの囲碁四家元のひとつで本因坊歴代の墓）、**天野宗歩**（江戸時代

の将棋指し、将棋三家元の出でなく七段でとどまる。実力は十三段で後に棋聖と呼ばれた）、**森山多吉郎**（栄之助とも言い、江戸時代のオランダ語・英語の通訳、ペリー来航時の通訳も務めた）**明暦の大火供養塔**（本妙寺は本郷にあり被災して巣鴨に移りました。本妙寺は大火の火元説もありますが不明です）等で境内に案内看板がありますが、「緊急事態宣言」期間中は一般の人のお墓参りはできませんでした。

〔寄り道—3〕 勝林寺

豊島区駒込 7-4-14



慈願寺を出て左手に行き、染井霊園の隣にある臨在宗妙心寺派のお寺です。

山門中央にはマスク姿のお地藏さんがいました。**田沼意次**（江戸幕府の家老の菩提寺、第十代将軍徳川家治に寵愛され家禄六百石から、五万七千石の相良藩大名になり、「田沼時代」といわれる全盛期を成した）の墓があります。

〔寄り道—4〕 西福寺

豊島区駒込 6-11-4

染井霊園入口を駒込駅方面に戻り、途中の交番を左折した「染井よしの桜の里公園」の先にある真言宗豊山派のお寺です。**伊藤政武**（植木師・園芸師）の墓があります。山門を入れて右手を進み、奥手前左手に案内表示があります。



お墓の脇の説明板には「伊藤家は近くの津藩藤堂家の下屋敷に出入りし庭のお世話をする植木屋となり江戸第一の種苗商になった。四代目の政武は江戸城にも出入りし将軍吉宗の御用植木師として城内の植木を管理した」と記載。

【こぼれ話】墓マイラー（掃苔家）

墓マイラーとは「歴史上の人物や著名人のお墓参りを趣味として全国を行脚する人たち」のことで、墓参りが転じて「墓マイラー」になったようです。

1967年生まれで大阪府出身の文芸研究者カジポン・マルコ・残月さんが名付け親とのこと。カジポンさんは33年かけて101ヶ国2520人の墓参りをしたそうで著作もあります。「墓マイラー」と呼ばれる以前から墓参りは「聖地巡礼」や「掃苔（そうたい）」（墓石に生えた苔をきれいに取り去って清めること）と言っています。これが転じて文人などでお墓を巡る風雅で酔狂な趣味を持つ人を「掃苔家」と呼んでいたとのこと。江戸時代の太田南畝（文人・狂歌師）、曲亭馬琴（読本作家）や森鷗外、永井荷風などが掃苔家や掃苔の趣味を持った「掃苔家」でした。最近の歴女ブームやウォーキングの普及で多くのお墓の案内書が発刊されています。そういえばF W Aにもお墓が好きなスタッフがいて彼の作成するコースはお墓を通過することが多かったことを思い出しました。

寅次郎、お彼岸や両親の命日に例会参加でお墓参りが出来ない時には訪問した墓地で「平野家の墓」を見つけ、手を合わせて済ませていました。

東京都には今回紹介の**染井霊園**（豊島区駒込）の他に次の都立霊園があり、多くの著名人が眠っています。

青山霊園（港区南青山）、**谷中霊園**（台東区谷中）、**雑司ヶ谷霊園**（豊島区南池袋）**多磨霊園**（府中市・小金井市）、**小平霊園**（東村山市・小平市・東久留米市）、**八王子霊園**（八王子市）です。

なお千葉県松戸市にある**八柱霊園**は都民霊園で都民も利用できます。東京都の広報6月号によると2020年は雑司ヶ谷霊園以外で使用者募集を行っています。

【バーチャルウォーク途中経過】

八柳修之さんの東京2020オリンピック聖火リレー神奈川県コース（380km）

と東京都コース（160 km）のバーチャルウォークがFWAホームページに「YR・四季の道」に掲載されました。

東京2020オリンピック・パラリンピックは2021年に延期となり、予定の聖火リレーは中止となりましたが、バーチャルウォークの聖火リレーは健在です。



寅次郎、5月14日 東京都コース（160 km）に挑戦、世田谷区駒沢のオリンピック公園をスタート、世田谷区、狛江市、稲城市、町田市、多摩市、日野市、昭島市、八王子市、檜原村、奥多摩町、日の出町、青梅市、瑞穂町、羽村市、あきる野市、福生市、武蔵村山市、立川市、国立市、国分寺市、小平市、東大和市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市、小金井市、調布市、三鷹市を経て6月7日武蔵野市（81.3 km 地点）に到着しました。本番の聖火は調布市に着いたら調布飛行場から都下の島しょ部を回りますが、バーチャルウォークコースでは省略して三鷹市へ向かいました。これからは23区に入り、まずは杉並区です。

しばらくは例会やYRがお休みですので、自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

FWAのHP「YR・四季の道」には多くのバーチャルコースが掲載されています。歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようご注意ください！

平野 寅次郎 拝